



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和5年 第5週（1/30～2/5）【概要版】

令和5(2023)年 2月9日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- インフルエンザは、注意報開始基準である10を超えました。2019年12月以来3シーズンぶりとなります。大津市、東近江保健所管内では3週連続で超えており、他の保健所管内でも増加傾向が見られています。全国的にも増加しており、警報レベルである30を超えている自治体も増えています。予防のためワクチン接種の検討をいただくとともに、適切なマスクの着脱、手指衛生など基本的な感染対策を実践しましょう。
- 感染性胃腸炎は、「例年より多く」報告されています。第3週に、令和4年度3回目の「ノロウイルス食中毒注意報（令和5年1月26日～2月15日）」が発令されています。調理前や食事の手洗いとともに、食品の取り扱いにご注意ください。

2. 報告数が多かった小児科定点把握疾患（五類感染症）ⁱ

（1）滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別（iv）						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 （ii）	例年より 多い （iii）	例年より 非常に多い （iii）	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
インフルエンザ	7.52	9.65	10.73	注			注		↑	注	↑	↑	↑
感染性胃腸炎	7.36	5.56	6.00		○		多	↑		↑		多	多
インフルエンザ入院	0.43	0.29	0.57				多			多			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	0.17	0.31					↑		多		多	
咽頭結膜熱	0.17	0.08	0.22		○		多			↑			多

（2）前週の全国、滋賀県および近隣府県の状況（下線：滋賀県よりも多い）

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
インフルエンザ	<u>10.36</u>	9.65	<u>24.34</u>	<u>20.24</u>	<u>25.38</u>	4.26	8.29
感染性胃腸炎	<u>7.38</u>	5.56	<u>6.56</u>	<u>5.87</u>	<u>6.43</u>	4.11	5.20
インフルエンザ入院	<u>0.37</u>	0.29	<u>1.31</u>	<u>0.43</u>	<u>1.17</u>	0.20	<u>0.44</u>
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<u>0.40</u>	0.17	<u>0.57</u>	<u>0.72</u>	<u>0.70</u>	0.04	<u>0.30</u>
咽頭結膜熱	<u>0.12</u>	0.08	<u>0.14</u>	<u>0.17</u>	<u>0.39</u>	<u>0.15</u>	<u>0.14</u>



3. 全数把握疾患（滋賀県、今週診断例）

類型	疾病名	滋賀県					保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	1	5	3				1		1	1		
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	1								1	
五類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	0	0	2	○		1			1			
五類	梅毒	2	0	1	○				1				

i. 定点把握疾患：人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点（医療機関）で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii. 警：警報発令、注：注意報発令

iii. 今週の値が過去5年の同時期（全数把握疾患は同時期の累積報告数）の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記（定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用）

iv. 「警：警報開始基準を超過」、「注：注意報基準を超過」、「多：今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑：前週比増加」（「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記）

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和5年第5週（1/30～2/5）【詳細版】

令和5(2023)年2月9日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

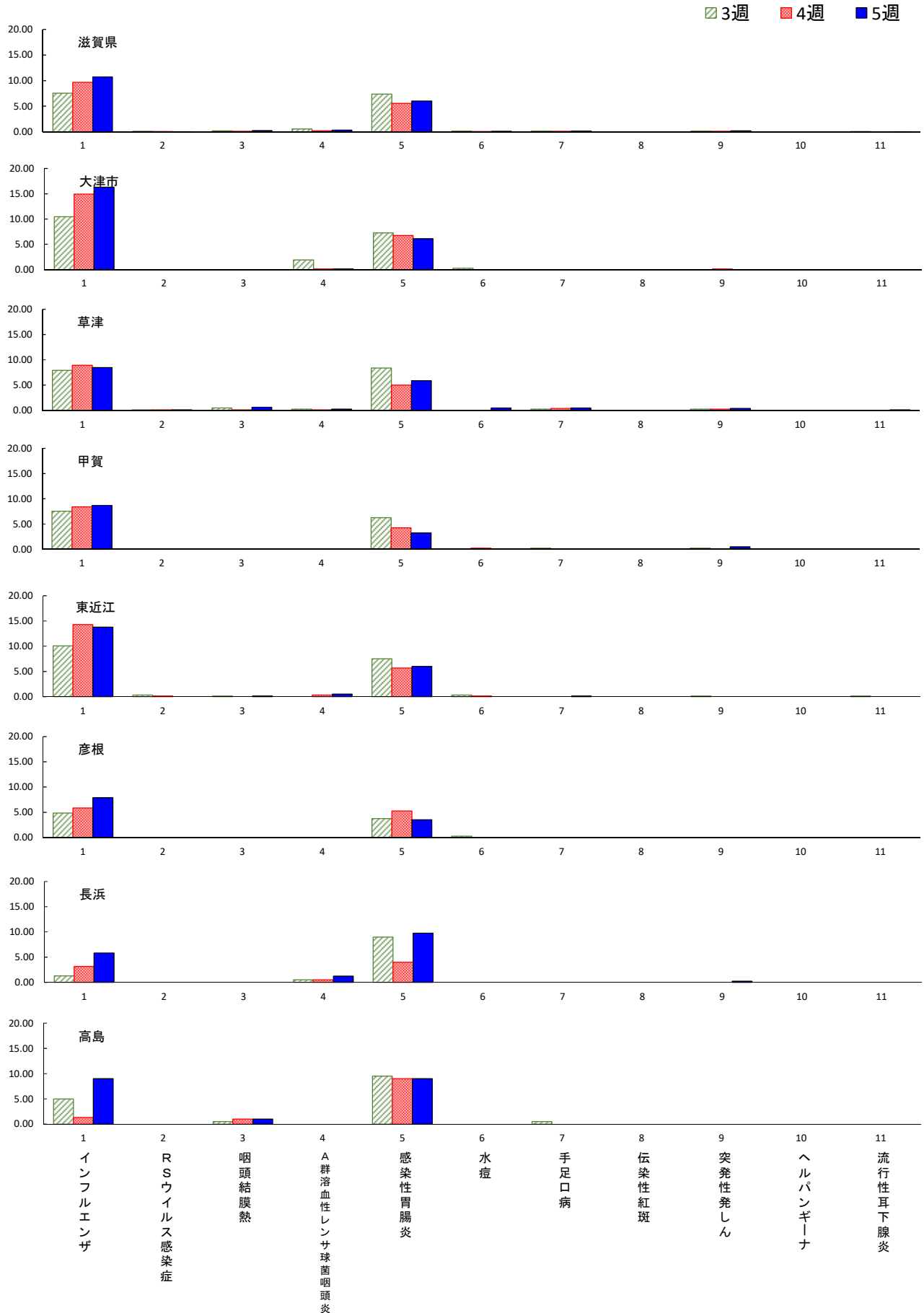
- インフルエンザは、注意報開始基準である10を超えました。2019年12月以来3シーズンぶりとなります。大津市、東近江保健所管内では3週連続で超えており、他の保健所管内でも増加傾向が見られています。全国的にも増加しており、警報レベルである30を超えている自治体も増えています。予防のためワクチン接種の検討をいただくとともに、適切なマスクの着脱、手指衛生など基本的な感染対策を実践しましょう。
- 感染性胃腸炎は、「例年より多く」報告されています。第3週に、令和4年度3回目の「ノロウイルス食中毒注意報（令和5年1月26日～2月15日）」が発令されています。調理前や食事前の手洗いとともに、食品の取り扱いにご注意ください。

2. 定点把握疾患（五類感染症）の定点当たり報告数（全国は前週）の値^{i, ii, iii, iv}

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)								基準値		
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津 市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	全国 (前週) (iv)	警報 開始	警報 終息	注意報
インフルエンザ (定点数:60)	インフルエンザ	7.52	9.65	10.73	注			16.31	8.46	8.71	13.80	7.86	5.86	9.00	10.36	30	10	10
	RSウイルス感染症	0.08	0.06	0.03				0	0.13	0	0	0	0	0	0.31	—	—	—
	咽頭結膜熱	0.17	0.08	0.22		○		0	0.63	0	0.17	0	0	1.00	0.12	3	1	—
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	0.53	0.17	0.31				0.13	0.25	0	0.50	0	1.25	0	0.40	8	4	—
	感染性胃腸炎	7.36	5.56	6.00		○		6.13	5.88	3.25	6.00	3.50	9.75	9.00	7.38	20	12	—
	水痘	0.14	0.06	0.11				0	0.50	0	0	0	0	0	0.07	2	1	1
	手足口病	0.11	0.08	0.14		○		0	0.50	0	0.17	0	0	0	0.10	5	2	—
	伝染性紅斑	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	2	1	—
	突発性発しん	0.11	0.08	0.17				0	0.38	0.50	0	0	0.25	0	0.22	—	—	—
	ヘルパンギーナ	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.05	6	2	—
小児科 (定点数:36)	流行性耳下腺炎	0.03	0	0.03				0	0.13	0	0	0	0	0	0.02	6	2	3
	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	—
	流行性角結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.19	8	4	—
	細菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—
	無菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.03	—	—	—
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—
	インフルエンザ入院	0.43	0.29	0.57				1.00	0	0	3.00	0	0	0	0.37	—	—	—
眼科 (定点数:8)																		
基幹 (定点数:7)																		

- 定点把握疾患:人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。
- 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。
- 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)
- 赤字斜字**: 警報開始基準を超過、**紫字斜字**: 注意報基準を超過

3. 定点把握疾患（五類感染症）の保健所別推移（滋賀県、今週と過去2週）



4. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

インフルエンザ定点 (60医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	644	4	1	15	16	31	60	70	73	65	62	43	109	20	12	30	18	5	6	3	1
大津市保健所	212	-	-	1	3	6	13	10	22	21	28	14	53	10	7	11	7	3	2	1	-
草津保健所	110	-	1	-	3	10	10	10	10	12	14	17	10	2	1	6	3	1	-	-	-
甲賀保健所	61	1	-	6	3	2	12	8	5	7	3	5	5	1	-	2	1	-	-	-	-
東近江保健所	138	3	-	2	2	7	20	30	18	10	10	2	28	2	1	1	-	-	1	-	1
彦根保健所	55	-	-	3	2	4	3	-	2	3	2	3	8	4	1	10	6	1	2	1	-
長浜保健所	41	-	-	2	3	1	2	7	7	5	5	2	3	1	1	-	-	-	1	1	-
高島保健所	27	-	-	1	-	1	-	5	9	7	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-

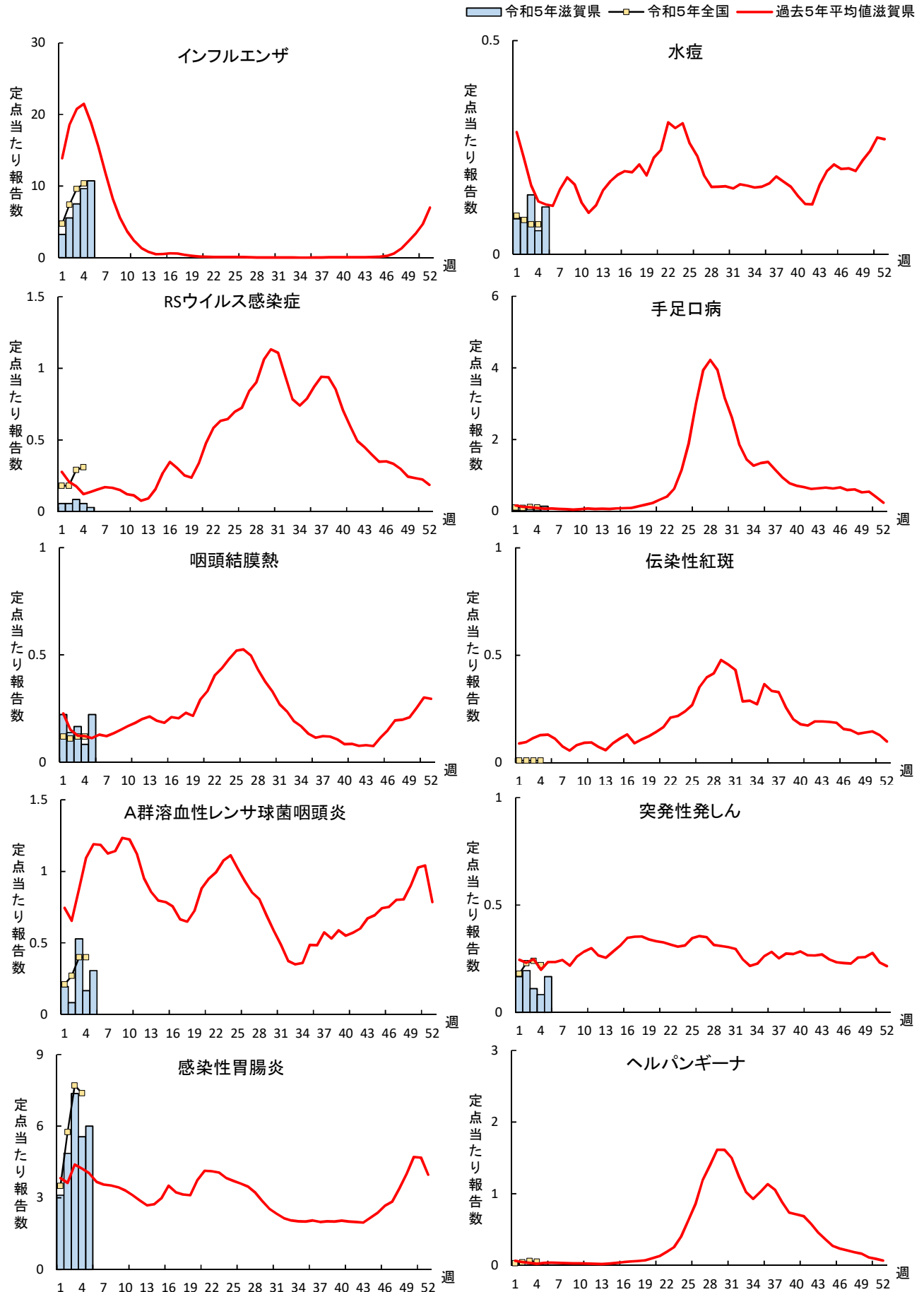
小児科定点 (36医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	8	-	-	3	-	2	-	2	-	-	-	1	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	11	-	-	1	3	-	1	1	-	1	1	-	1	-	2
感染性胃腸炎	216	2	7	42	24	32	29	17	18	7	8	5	12	1	12
水痘	4	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-
手足口病	5	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	6	-	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

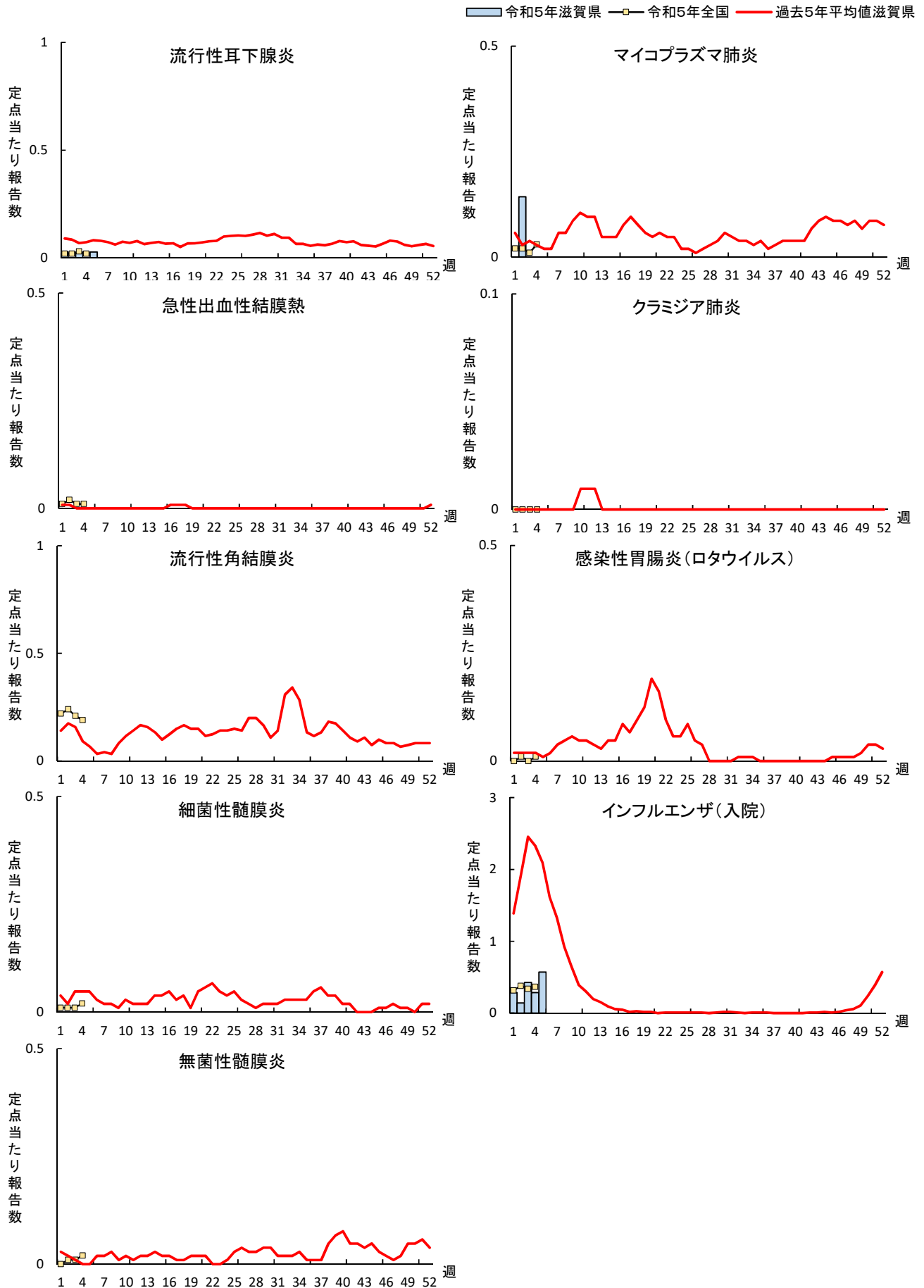
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ入院	4	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

「-」: 報告なし

5-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



5-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



6. 全数把握疾患 詳細情報（今週報告例）^v

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	05	草津	70歳代	男	肺結核	県内	-
	結核	05	東近江	40歳代	男	結核性膿胸	国外	-
	結核	05	彦根	90歳以上	女	肺結核	-	-
三類	腸管出血性大腸菌感染症	05	長浜	50歳代	男	無症状病原体保有者	-	O157 VT2
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	05	大津市	60歳代	男	肺炎	県内	<i>Serratia marcescens</i>
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	05	東近江	90歳以上	女	尿路感染症	-	<i>Enterobacter cloacae</i>
	梅毒	05	甲賀	30歳代	男	無症状病原体保有者	県内	-

v. 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

今週の注目すべき感染症

■ インフルエンザ

(1) インフルエンザに関する報道発表資料 2022/2023 シーズン(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou_00010.html

(2) インフルエンザ Q&A(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

■ ノロウイルス

(1) ノロウイルスに関する Q&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

(2) ノロウイルス等検出速報(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>

■ 梅毒

(1) 梅毒に関する Q&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

(2) 梅毒とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/syphilis/392-encyclopedia/465-syphilis-info.html>

(3) 梅毒 IASR Vol.41 2020 年1月号(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m-3/syphilis-iasrtpc/9342-479t.html>

■ 新型コロナウイルス感染症

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する滋賀県の状況について(滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryuu/hukushi/yakuzi/309252.html>

(2) 現在の感染拡大防止対策について(滋賀県)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/bousai/sougo/313693.html>

(3) 新型コロナウイルス感染症にかかる滋賀県内の感染動向等(日報・週報)(滋賀県感染症対策課)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryuu/hukushi/yakuzi/314006.html>

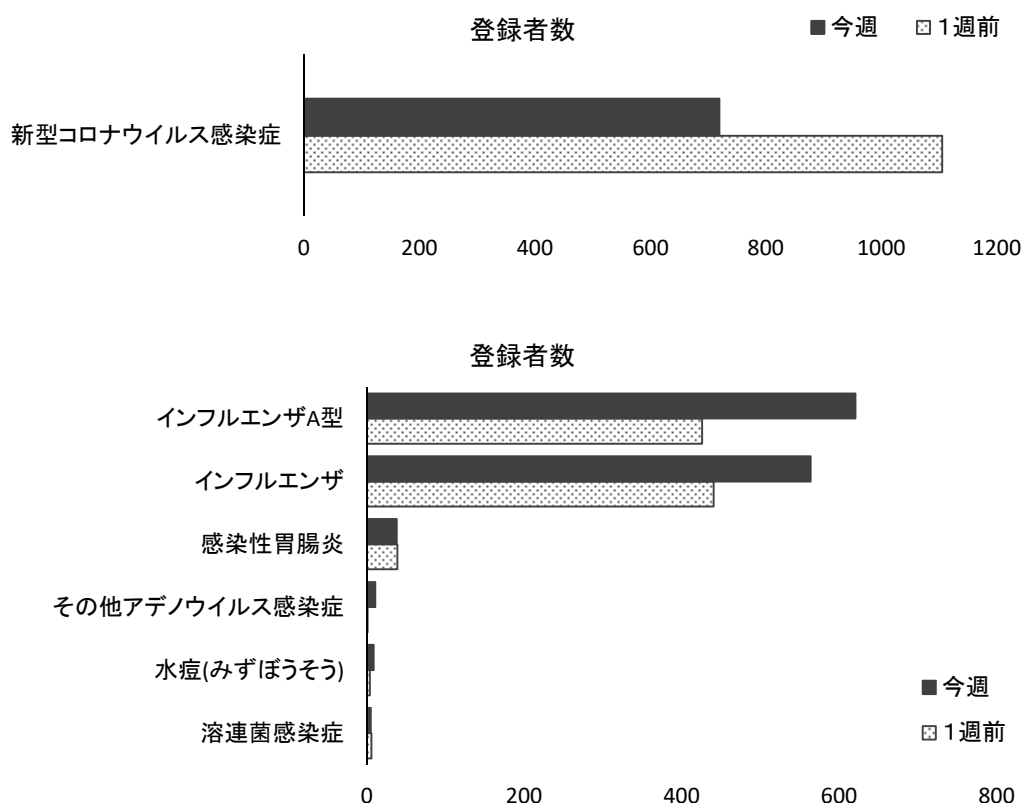
7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別（令和5年）^{vi, vii}

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核			15	4	5	2	2	1	0	1	697	158	14530
			1.06	1.16	1.43	1.41	0.89	0.65	0.00	2.21	0.56	11.20	11.58
三類 腸管出血性大腸 菌感染症			1	0	0	0	0	0	1	0	77	46	3352
			0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.36	3.26	2.67
四類 つつが虫病	○	○	1	0	0	0	0	0	1	0	34	1	481
			0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.36	0.07	0.38
レジオネラ症			2	1	0	0	1	0	0	0	113	33	2129
			0.14	0.29	0.00	0.00	0.44	0.00	0.00	0.00	0.36	2.34	1.70
五類 アメーバ赤痢	○		1	1	0	0	0	0	0	0	26	9	529
			0.07	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.64	0.42
カルバペネム耐性 腸内細菌感染症	○		2	1	0	0	1	0	0	0	106	20	1965
			0.14	0.29	0.00	0.00	0.44	0.00	0.00	0.00	0.08	1.42	1.57
侵襲性インフルエ ンザ菌感染症	○		2	1	0	0	0	0	1	0	25	3	206
			0.14	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.02	0.21	0.16
侵襲性肺炎球菌 感染症	○		4	2	1	0	0	0	1	0	135	19	1319
			0.28	0.58	0.29	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.11	1.35	1.05
梅毒	○		4	1	2	1	0	0	0	0	779	69	12966
			0.28	0.29	0.57	0.71	0.00	0.00	0.00	0.00	0.62	4.89	10.33
バンコマイシン耐 性腸球菌感染症	○	○	1	1	0	0	0	0	0	0	11	0	131
			0.07	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.10
薬剤耐性アシネト バクター感染症	○	○	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	14
			0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.01

- vi. 今年第1週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口10万人当たりの累積報告数」を示しています。
- vii. 今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム(https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php)へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。



図：学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）において登録数の多い疾患

【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHP に掲載されています。

感染症発生動向調査 週報(IDWR)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報(IASR)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>

インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患】厚生労働省 HP に掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

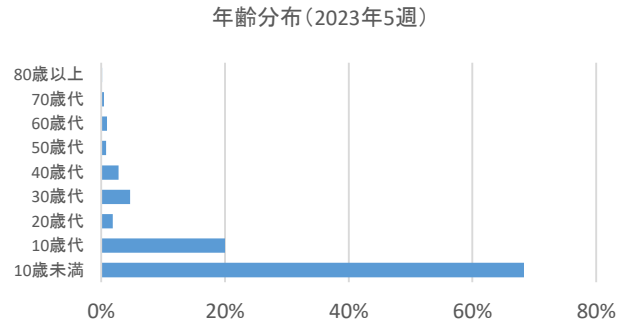
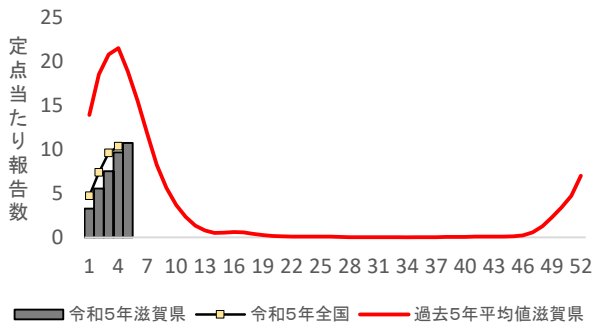
滋賀県感染症情報センターHP:

<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>

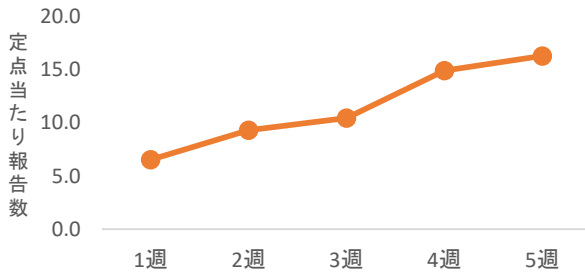
イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」



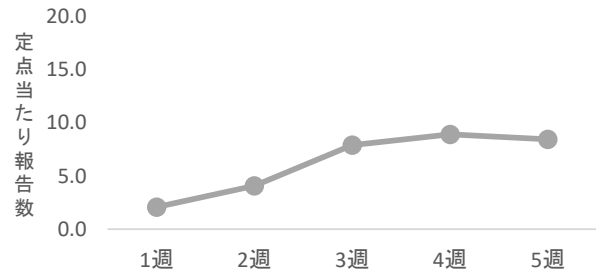
滋賀県 インフルエンザ感染動向 令和5年第5週



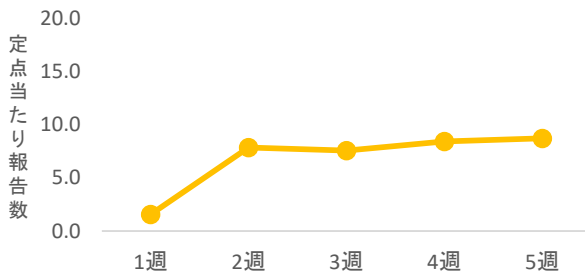
大津市



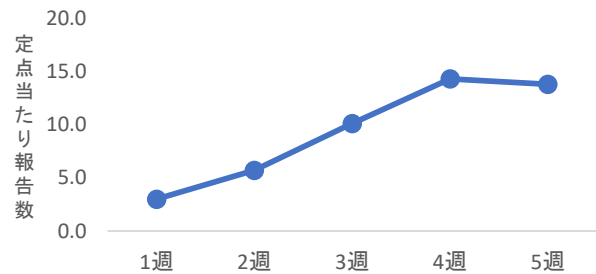
草津



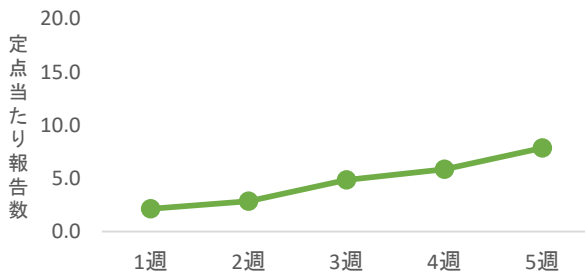
甲賀



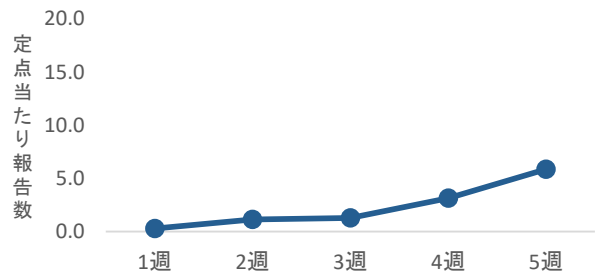
東近江



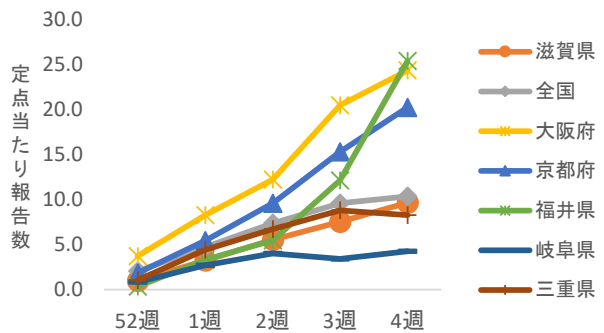
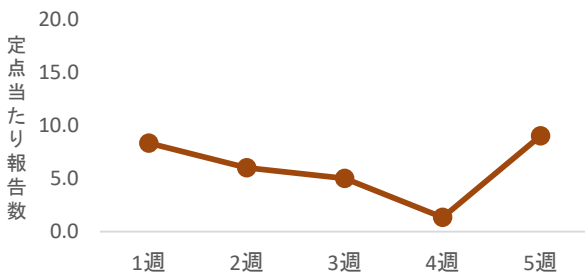
彦根



長浜



高島



【病原体情報】

・病原体定点ウイルス検体（1月25日回収分）で検出されたインフルエンザウイルスの遺伝子型はすべてAH3亜型でした。